

## 杉並区における不登校対策の取組について

## 1 不登校児童・生徒の推移

	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	児童・生徒数 (出現率)	解消件数 (解消率)	児童・生徒数 (出現率)	解消件数 (解消率)	児童・生徒数 (出現率)	解消件数 (解消率)
小学校	87人 (0.48%)	19人 (21.8%)	68人 (0.36%)	30人 (44.1%)	108人 (0.57%)	42人 (38.9%)
中学校	193人 (3.03%)	38人 (19.7%)	201人 (3.13%)	49人 (24.4%)	205人 (3.19%)	37人 (18.0%)
合計	280人 (1.14%)	57人 (20.4%)	269人 (1.07%)	79人 (29.4%)	313人 (1.24%)	79人 (25.2%)
参考 (都全体)	9530人 (1.20%)	2585人 (27.1%)	10079人 (1.27%)	2743人 (27.2%)	10618人 (1.33%)	2707人 (25.5%)

※出現率：不登校人数÷在籍者数×100 ※解消率：不登校解消数÷不登校人数×100

## 【不登校に至る主な要因】

- ・家庭環境や友人関係のほか、情緒不安定など本人に起因するケースなど

## 2 不登校対策の主な取組

## (1) 不登校解消支援システムによる支援

不登校傾向にある児童・生徒の早期発見・早期対応を図るため、学校が「個別登校支援票」等を作成するとともに、臨床心理士や教員OB等の専門家からアドバイスを受け、必要に応じて関係機関と連携して、当該児童・生徒の登校支援を行う区独自の仕組み。

## 【平成28年度実績】

- ・155人の児童・生徒を対象に支援

## (2) スクールカウンセラーの全校配置

いじめや不登校、問題行動等の未然防止・解消のため、スクールカウンセラーを全校配置し、相談機能を充実。

## 【平成28年度実績】

- ・児童・生徒7,216件、保護者4,906件、教員9,095件の相談等に対応

## (3) スクールソーシャルワーカーの派遣

問題を抱えた児童・生徒と家庭・学校・地域・関係機関等に対する調整・仲介役としての役割を担う福祉や心理の専門職であるスクールソーシャルワーカーを派遣し、児童・生徒を取り巻く様々な環境に働きかけ、その生活改善を図る取組。

## 【平成28年度実績】

- ・233件の相談・訪問等に対応

#### (4) ふれあいフレンド事業の実施

不登校等の児童・生徒を対象に、訪問相談員による家庭訪問・在宅支援を実施。

##### 【平成28年度実績】

- ・6人の児童・生徒（小学生1人、中学生5人）に対して、延べ96回の家庭訪問・在宅支援を実施（6人の児童・生徒のうち、当該年度の学校復帰者は0人）

#### (5) 適応指導教室（さざんかステップアップ教室）の実施

不登校の児童・生徒が、集団生活を通して社会性を育み、学校生活に復帰できるよう支援。

※児童・生徒は在籍校に籍を置いたまま通室。支援に当たっては、教科学習・教育相談・レクリエーション・体験的活動等を組み合わせた個別活動計画を作成。

##### 【平成28年度実績】

	名称（所在地）	定員	通室人数 （うち学校復帰者数）
小学生 対象	荻窪教室（荻窪3-40-23）	20人	23人（1人）
中学生 対象	天沼教室（本天沼3-10-20）	20人	15人（0人）
	和田教室（和田1-41-10 3階）	20人	15人（0人）
	宮前教室（宮前5-5-27）	20人	34人（3人）